

Max Signal™ アフラトキシン M1 ELISA テスト

Max Signal アフラトキシン M1 ELISA テストシリーズは、ミルクや粉ミルク、乳製品などにおけるアフラトキシン M1 汚染をスクリーニング検出あるいは定量する ELISA キットで、迅速タイプと高感度タイプの 2 種類があります。いずれのタイプもミルクは直接か遠心による脱脂のみで試験する事ができます。メーカーの BIOO Scientific Inc.社ではさらに、アフラトキシン M1 用の定性イムノクロマトキットやイムノアフィニティカラムもラインアップしています。

(製造 : BIOO Scientific Inc.米国) rev.2017/07

商品名	MaxSignal アフラトキシン M1 ELISA 迅速タイプ	MaxSignal アフラトキシン M1 ELISA 高感度タイプ
コード	3245BS A 060	3245BS B 060
価格	68,000 円 (税別)	68,000 円 (税別)
製品内容	マイクロプレート 96 ウェル (二次抗体固着、8 ウェル 12 ストリップ) 一次抗体、酵素標識 M1、発色基質 反応停止液、洗浄濃縮液 標準液 (ゼロ標準+5 濃度)、スパイク溶液	マイクロプレート 96 ウェル (AFT M1 抗体固着、8 ウェル 12 ストリップ) 酵素標識 M1、発色基質 反応停止液、洗浄濃縮液 標準液 (ゼロ標準+5 濃度)、スパイク溶液
目的・用途	ミルク/乳製品中などのアフラトキシン M1 のスクリーニング検出・定量	
原理・性能	ELISA (競合) 法	
他に必要な試薬器材	マイクロピペット&チップ、マイクロプレートリーダー450nm ボルテックス、遠心分離機、洗浄ビン、抽出用器材 1 式	
保管条件	冷蔵 2~8℃ 長期未使用の場合は一部冷凍	
前処理方法	<p>ミルク : そのまま。場合により遠心脱脂</p> <p>粉ミルク : 蒸留水で 10 倍希釈。場合により遠心脱脂</p> <p>ヨーグルト : 添付バッファで 2 倍希釈して混合、遠心分離</p> <p>バター/チーズ : 1g にメタノール 4mL を加え高速振とう抽出、遠心分離。上清を蒸発乾固した後、PBS で再溶解</p>	
操作方法	<p>①標準/試料を 50 μL 滴下</p> <p>②酵素標識 AFT M1 を 50 μL 滴下</p> <p>③抗 AFT M1 抗体を 50 μL 滴下 インキュベート 15 分 ⇒ ウェル洗浄</p> <p>④発色基質を 100 μL 滴下 インキュベート 15 分</p> <p>⑤反応停止液を 100 μL 滴下 吸光度 450nm 測定、濃度計算</p>	<p>①標準/試料を 200 μL 滴下 インキュベート 45 分 ⇒ ウェル洗浄</p> <p>②酵素標識 AFT M1 を 100 μL 滴下 インキュベート 15 分 ⇒ ウェル洗浄</p> <p>③発色基質を 100 μL 滴下 インキュベート 15 分</p> <p>④反応停止液を 100 μL 滴下 吸光度 450nm 測定、濃度計算</p>
検出限界と標準液濃度	ゼロ, 0.05, 0.15, 0.3, 0.9, 2.7 ppb ミルク 0.1ppb	ゼロ, 0.005, 0.015, 0.03, 0.09, 0.27 ppb ミルク 0.005ppb、ヨーグルト 0.01ppb バター/チーズ 0.02ppb
交差反応率	Aflatoxin M1 を 100 として Aflatoxin M2 29、B1=46 B2=35, G1=27, G2=6	



MAX SIGNAL®